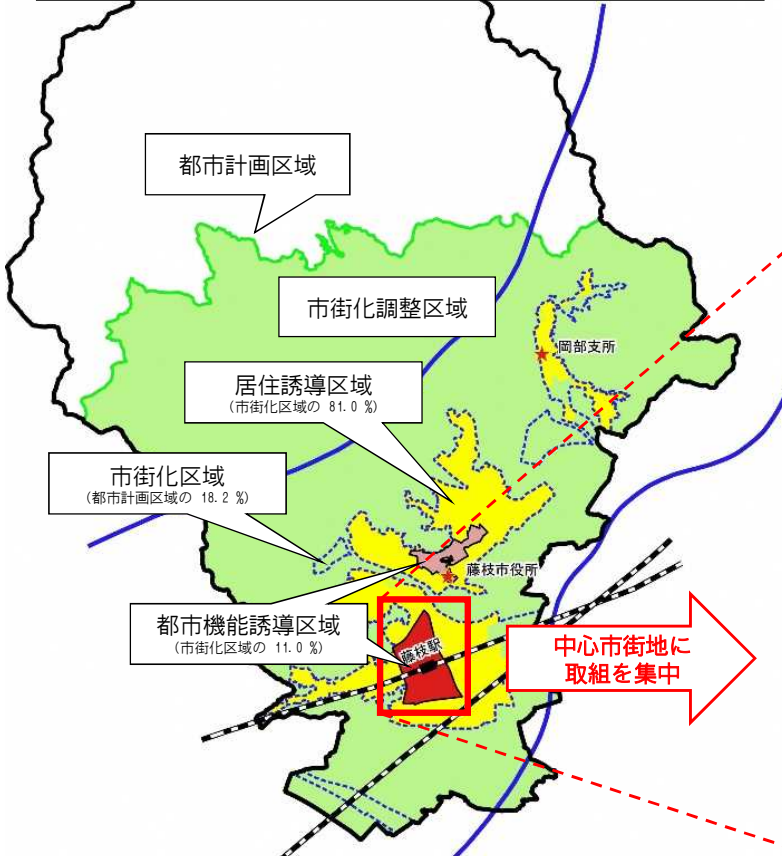


コンパクトにまとまった市街化区域(※)において都市機能誘導区域を **11.0%** (2箇所) にしぼりこみ

※市街化区域 / 都市計画区域 = **18.2%** (全国平均: 27.5%)



市有地を活用した民間活力による都市機能の誘導

- 市有地を民間貸付(20年定借)し、民間事業者が商業施設を建設・所有・管理運営
- 市は床を借りて図書館を運営



民間資金の活用で行政コストを

1.4億円削減

※藤枝市資料をもとに国土交通省試算

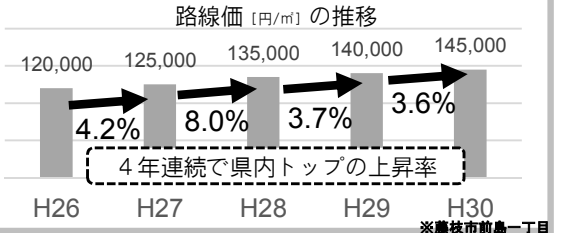


- 市有地をコンペで民間売却し国際観光ホテルや商業施設を誘致
- 売却益を活用して、小・中学校の耐震化100%を達成

再開発等による街なか居住の促進



- 子育て支援施設、医療施設、商業テナント等を配置し、街なか居住を促進するほか、来街者向けの市営駐車場を併設



中心市街地に取組を集中

地域性に応じたネットワーク形成

- 利用者が減少し、民間バス路線の撤退に不安を抱える地域の住民によって、都市機能誘導区域や市立病院等へアクセスする公共交通についての検討がなされている



- IoT通信基盤を活用した「街なかシェアサイクル」を展開し、回遊性向上とともに移動データをマーケティング等に活用



- 民間との協働による街路空間モール化により駅前の賑わいを創出



- エリアごとの特色に応じ住民参加でロゴマークを作成し、まちづくりのコンセプトを共有



FUJIEDA EKINAN

活動・交流の創出



FUJIEDA EKIMAE

街なか居住の促進



FUJIEDA AOKI

回遊の創出

モール化イベントの経済波及効果

年間2億円

※藤枝市資料をもとに国土交通省試算